

# 令和6年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年10月分について、輸出額は「写真用・映画用材料」などが増加したものの、「石油製品」、「自動車」、「電気回路等の機器」などが減少したことから、対前年同月比 17.2%の減少となった。また、輸入額は「石油製品」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「石炭」などが減少したことから、同 8.1%の減少となった。  
その結果、差引額は828億円（同 5.7%の増加）の輸入超過となった。

区 分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差引額（▲は輸入超過）	伸 率
四日市港	979億円	▲17.2%	1,806億円	▲8.1%	▲828億円	+5.7%
	3ヵ月連続の減少		7ヵ月ぶりの減少			

			概 況 品 名	金 額	伸 率				概 況 品 名	金 額	伸 率
輸 出	増加品目	( 1 )	写真用・映画用材料	25億円	+98.6%	輸 入	増加品目	( 1 )	石油製品	139億円	+215.9%
		( 2 )	映像機器	27億円	+44.0%			( 2 )	液化石油ガス	89億円	全増
		( 3 )	鉱物性タール及び粗製薬品	41億円	+20.0%			( 3 )	有機化合物	62億円	+125.9%
	減少品目	( 1 )	石油製品	64億円	▲69.7%		減少品目	( 1 )	原油及び粗油	771億円	▲36.1%
		( 2 )	自動車	159億円	▲23.1%			( 2 )	石炭	19億円	▲76.0%
		( 3 )	電気回路等の機器	82億円	▲14.3%			( 3 )	非鉄金属鉱	13億円	▲13.7%
	地域別 動 向	大洋州、アジアが減少、アフリカは増加					地域別 動 向	中東、中東欧・ロシア等が減少、アジアは増加			

（参考）ドルレートは、145.87円（前年同月比2.0%、3.01円の円高）であった。  
（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。  
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。